

【表紙】

【提出書類】	半期報告書
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成27年 8 月19日
【計算期間】	第 2 期中（自 平成26年11月21日 至 平成27年 5 月20日）
【ファンド名】	ピムコ・エマージング・ボンド・オープン Cコース（為替ヘッジなし） （年 1 回決算型） ピムコ・エマージング・ボンド・オープン Dコース（為替ヘッジあり） （年 1 回決算型）
【発行者名】	三菱ＵＦＪ国際投信株式会社
【代表者の役職氏名】	取締役社長 金上 孝
【本店の所在の場所】	東京都千代田区有楽町一丁目12番 1 号
【事務連絡者氏名】	伊藤 晃
【連絡場所】	東京都千代田区有楽町一丁目12番 1 号
【電話番号】	03-6250-4740
【縦覧に供する場所】	該当ありません

（注）この半期報告書は、金融商品取引法（昭和23年法律第25号）第 7 条第 4 項の規定により、平成27年 2 月19日付をもって提出した有価証券届出書の訂正届出書とみなされます。

1【ファンドの運用状況】

【ピムコ・エマージング・ボンド・オープンＣコース（為替ヘッジなし）（年１回決算型）】

（１）【投資状況】

【投資状況】

平成27年5月29日現在

（単位：円）

資産の種類	国／地域名	時価合計	投資比率(%)
投資信託受益証券	バミューダ	1,523,538	99.12
親投資信託受益証券	日本	1,000	0.07
コール・ローン、その他資産 （負債控除後）		12,485	0.81
純資産総額		1,537,023	100.00

（注）投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率をいいます。

【投資資産】

（a）【投資有価証券の主要銘柄】

a 評価額上位 30 銘柄

平成27年5月29日現在

国／地域	銘柄	種類	業種	口数	上段：帳簿価額 下段：評価額		利率(%) 償還期限 (年/月/日)	投資 比率 (%)
					単価(円)	金額(円)		
バミューダ	ピムコ エマージング ボンド インカム ファンド	投資信託 受益証券		137.1816	11,008.71 11,106.00	1,510,193 1,523,538		99.12
日本	マネー・マーケット・マザー ファンド	親投資信託 受益証券		983	1.0183 1.0183	1,000 1,000		0.07

（注）投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該銘柄の評価金額の比率です。

b 全銘柄の種類／業種別投資比率

平成27年5月29日現在

種類／業種別	投資比率(%)
投資信託受益証券	99.12
親投資信託受益証券	0.07
合 計	99.19

（注）投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該種類または業種の評価金額の比率です。

（b）【投資不動産物件】

該当事項はありません。

（c）【その他投資資産の主要なもの】

該当事項はありません。

（２）【運用実績】

【純資産の推移】

下記計算期間末日および平成27年5月末日、同日前１年以内における各月末の純資産の推移は次の通りです。

（単位：円）

	純資産総額	基準価額 (1万口当たりの純資産価額)
第1計算期間末日 (平成26年11月20日)	1,435,273 (分配付) 1,435,273 (分配落)	12,489 (分配付) 12,489 (分配落)
平成26年 5月末日	1,211,866	10,875
6月末日	1,218,252	10,932
7月末日	1,230,734	11,035
8月末日	1,254,855	11,252
9月末日	1,303,864	11,578
10月末日	1,336,673	11,696
11月末日	1,445,318	12,576
12月末日	1,424,226	12,459
平成27年 1月末日	1,405,991	12,217
2月末日	1,415,857	12,445
3月末日	1,457,731	12,531

4月末日	1,502,616	12,666
5月末日	1,537,023	13,151

【分配の推移】

	1万口当たりの分配金
第1計算期間	0円

【収益率の推移】

	収益率（％）
第1計算期間	24.89
第1計算期間末日から 平成27年5月末日までの期間	5.30

（注）「収益率」とは、計算期間末の基準価額（分配付の額）から当該計算期間の直前の計算期間末の基準価額（分配落の額）を控除した額を当該基準価額（分配落の額）で除して得た数に100を乗じて得た数をいう。ただし、第1計算期間末日から平成27年5月末日までの期間については平成27年5月末日の基準価額から当該基準価額（分配落の額）を控除した額を当該基準価額（分配落の額）で除して得た数に100を乗じて得た数をいう。

【ピムコ・エマージング・ボンド・オープン Dコース（為替ヘッジあり）（年1回決算型）】

（１）【投資状況】

【投資状況】

平成27年5月29日現在
（単位：円）

資産の種類	国／地域名	時価合計	投資比率（％）
投資信託受益証券	バミューダ	1,990,038	98.24
親投資信託受益証券	日本	1,000	0.05
コール・ローン、その他資産 （負債控除後）		34,609	1.71
純資産総額		2,025,647	100.00

（注）投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率をいいます。

【投資資産】

（a）【投資有価証券の主要銘柄】

a 評価額上位 30 銘柄

平成27年5月29日現在

国／地域	銘柄	種類	業種	口数	上段：帳簿価額 下段：評価額		利率（％） 償還期限 （年／月／日）	投資 比率 （％）
					単価（円）	金額（円）		
バミューダ	ピムコ エマージング ボンド （エン・ヘッジド） インカム ファンド	投資信託 受益証券		224.9394	9,034.25 8,847.00	2,032,159 1,990,038		98.24
日本	マネー・マーケット・マザー ファンド	親投資信託 受益証券		983	1.0183 1.0183	1,000 1,000		0.05

（注）投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該銘柄の評価金額の比率です。

b 全銘柄の種類／業種別投資比率

平成27年5月29日現在

種類／業種別	投資比率（％）
投資信託受益証券	98.24
親投資信託受益証券	0.05
合 計	98.29

（注）投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該種類または業種の評価金額の比率です。

（b）【投資不動産物件】

該当事項はありません。

（c）【その他投資資産の主要なもの】

該当事項はありません。

（２）【運用実績】

【純資産の推移】

下記計算期間末日および平成27年5月末日、同日前１年以内における各月末の純資産の推移は次の通りです。

（単位：円）

	純資産総額	基準価額 (１万口当たりの純資産価額)
第1計算期間末日 (平成26年11月20日)	1,433,427 (分配付) 1,433,427 (分配落)	10,401 (分配付) 10,401 (分配落)
平成26年 5月末日	1,050,763	10,498
6月末日	1,058,458	10,570
7月末日	1,054,057	10,521
8月末日	1,066,054	10,629
9月末日	1,040,767	10,373
10月末日	1,448,579	10,511
11月末日	1,446,290	10,491
12月末日	1,984,017	10,125
平成27年 1月末日	1,986,008	10,133
2月末日	2,000,246	10,206
3月末日	2,003,863	10,222
4月末日	2,041,929	10,414
5月末日	2,025,647	10,358

【分配の推移】

	1万口当たりの分配金
第1計算期間	0円

【収益率の推移】

	収益率(%)
第1計算期間	4.01
第1計算期間末日から 平成27年5月末日までの期間	0.41

（注）「収益率」とは、計算期間末の基準価額（分配付の額）から当該計算期間の直前の計算期間末の基準価額（分配落の額）を控除した額を当該基準価額（分配落の額）で除して得た数に100を乗じて得た数をいう。ただし、第1計算期間末日から平成27年5月末日までの期間については平成27年5月末日の基準価額から当該基準価額（分配落の額）を控除した額を当該基準価額（分配落の額）で除して得た数に100を乗じて得た数をいう。

< 参考 >

「マネー・マーケット・マザーファンド」

投資状況

平成27年5月29日現在

（単位：円）

資産の種類	国／地域名	時価合計	投資比率(%)
国債証券	日本	1,750,080,500	90.60
コール・ローン、その他資産 (負債控除後)		181,589,413	9.40
純資産総額		1,931,669,913	100.00

（注）投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率をいいます。

投資資産

(a) 投資有価証券の主要銘柄

a 評価額上位30銘柄

平成27年5月29日現在

国/ 地域	銘柄	種類	業種	券面総額 (千円)	上段：帳簿価額 下段：評価額		利率(%)	投資 比率 (%)
					単価(円)	金額(円)	償還期限 (年/月/日)	
日本	第532回国庫短期証券	国債証券		1,100,000	99.99 99.9997	1,099,994,500 1,099,996,700	2015/08/17	56.95
日本	第522回国庫短期証券	国債証券		300,000	100.00 99.9996	300,000,300 299,998,800	2015/07/06	15.53
日本	第331回利付国債(2年)	国債証券		200,000	100.02 100.0200	200,050,000 200,040,000	0.100000 2015/08/15	10.36
日本	第332回利付国債(2年)	国債証券		150,000	100.03 100.0300	150,051,000 150,045,000	0.100000 2015/09/15	7.77

(注) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該銘柄の評価金額の比率です。

b 全銘柄の種類 / 業種別投資比率

平成27年5月29日現在

種類 / 業種別	投資比率(%)
国債証券	90.60
合 計	90.60

(注) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該種類または業種の評価金額の比率です。

(b) 投資不動産物件

該当事項はありません。

(c) その他投資資産の主要なもの

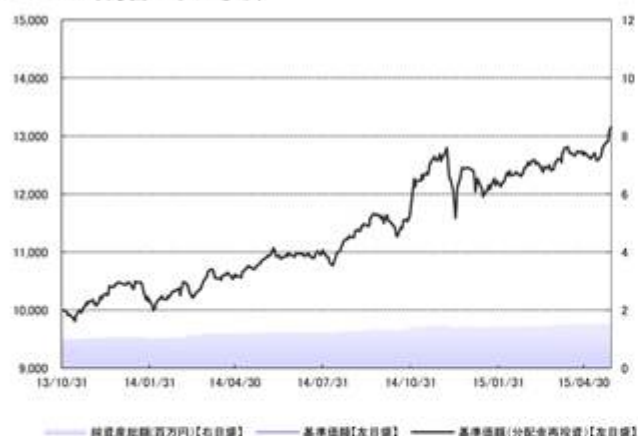
該当事項はありません。

[参考情報]

運用実績

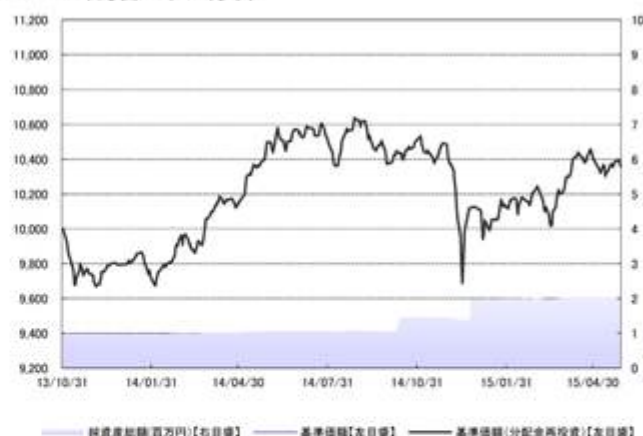
1 基準価額・純資産の推移(設定日～2015年5月29日)

Cコース(為替ヘッジなし)



- ・基準価額、基準価額(分配金再投資)は10,000を起点として表示
- ・基準価額(分配金再投資)は分配金(税引前)を再投資したものと計算

Dコース(為替ヘッジあり)



2 分配の推移

	Cコース	Dコース
2014 年 11月	0円	0円
設定来累計	0円	0円

・分配金は1万口当たり、税引前

3 主要な資産の状況(2015年5月29日現在)

	銘柄名	クーポン	償還日	組入比率
1	SLOVENIA GOVT REGS	5.250%	2024/02/18	3.2%
2	TURK EXIMBANK SR UNSEC 144A	5.875%	2019/04/24	2.3%
3	PANAMA (REP OF) GLOBAL UNSEC	7.125%	2026/01/29	1.9%
4	PETROBRAS GLOBAL FINANCE SR UNSEC	4.875%	2020/03/17	1.7%
5	PEMEX GLBL CO GTD	6.500%	2041/06/02	1.6%
6	CORP FINANCI DE DESARROL SR UNSEC REGS	4.750%	2022/02/08	1.6%
7	RSHB CAPTL (RUSS AG BK) SECURED 144A	7.750%	2018/05/29	1.6%
8	PETROBRAS GLOBAL FINANCE GLBL SR UNSEC	5.625%	2043/05/20	1.6%
9	URUGUAY (REP OF) BD PIK	7.875%	2033/01/15	1.5%
10	CENT ELET BRASILEIRAS SA SR UNSEC REGS	5.750%	2021/10/27	1.3%

- ・比率は実質的な投資を行う外国投資信託の純資産総額に対する投資比率(小数点第二位四捨五入)
- ・余裕資金運用に伴う短期金融商品保有分を含む

4 年間収益率の推移

Cコース(為替ヘッジなし)



- ・収益率は基準価額(分配金再投資)で計算
- ・2013年は設定日から年末までの、2015年は5月29日までの収益率を表示
- ・2012年以前はベンチマークの年間収益率(委託会社の計算日基準)を表示

Dコース(為替ヘッジあり)

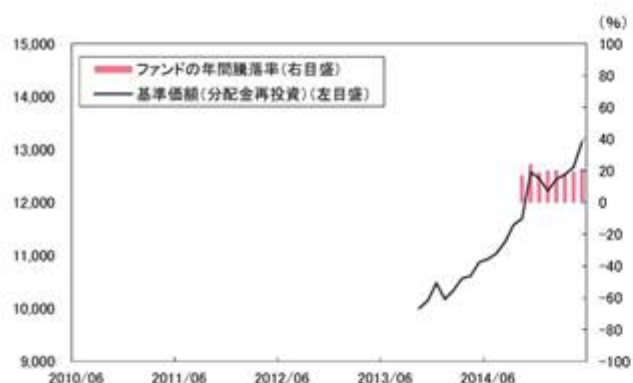


- ・ファンドの運用実績はあくまで過去の実績であり、将来の運用成果を約束するものではありません。
- ・ベンチマークはあくまで参考情報であり、ファンドの運用実績ではありません。
- ・ファンドの運用状況等は別途、委託会社のホームページで開示している場合があります。

【投資リスク】

Cコース（為替ヘッジなし）

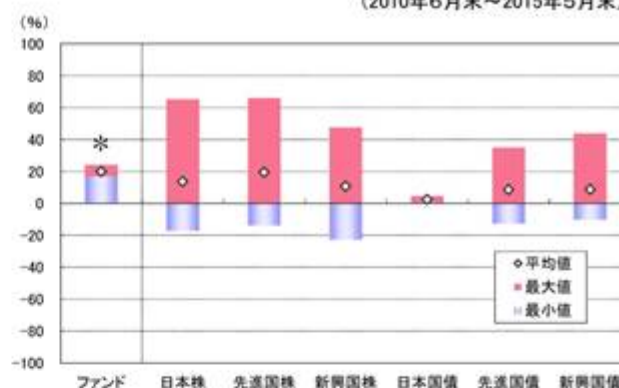
●ファンドの年間騰落率および基準価額（分配金再投資）の推移



- ・ファンドの年間騰落率とは、当該各月末の基準価額（分配金再投資）から当該各月末の1年前の基準価額（分配金再投資）を控除した額を当該各月末の1年前の基準価額（分配金再投資）で除して得た数に100を乗じて得た数をいいます。
- ・ファンドの年間騰落率は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算した年間騰落率が記載されており、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

●ファンドと他の代表的な資産クラスとの騰落率の比較

(2010年6月末～2015年5月末)



- ・グラフは、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。

ファンドと他の代表的な資産クラスの平均騰落率、年間最大・最小騰落率(%)

	ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
平均値	+19.9	+13.6	+19.4	+10.6	+2.4	+8.5	+8.7
最大値	+24.0	+65.0	+65.7	+47.4	+4.5	+34.9	+43.7
最小値	+17.0	-17.0	-13.6	-22.8	+0.4	-12.7	-10.1

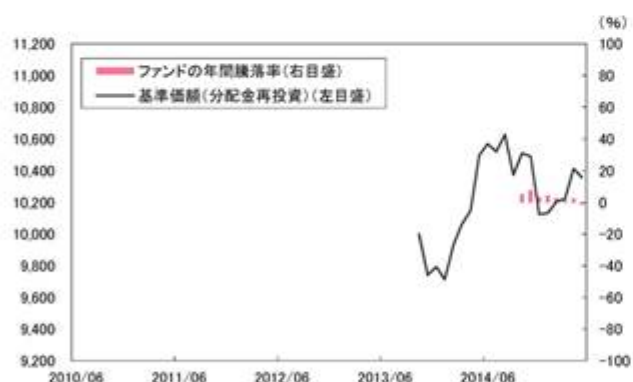
(注) 全ての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。

- ・2010年6月～2015年5月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

- ＊ファンドについては2014年10月～2015年5月の同様の騰落率を表示したものです。

Dコース（為替ヘッジあり）

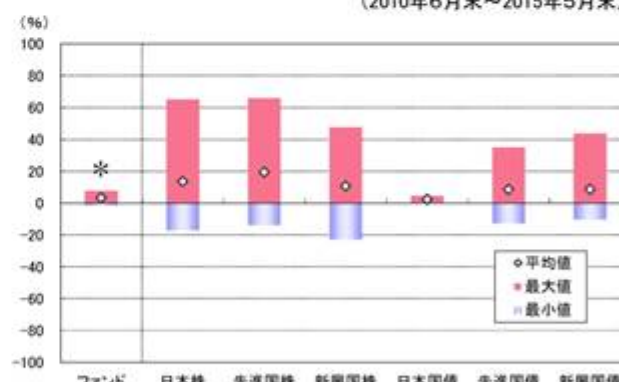
●ファンドの年間騰落率および基準価額（分配金再投資）の推移



- ・ファンドの年間騰落率とは、当該各月末の基準価額（分配金再投資）から当該各月末の1年前の基準価額（分配金再投資）を控除した額を当該各月末の1年前の基準価額（分配金再投資）で除して得た数に100を乗じて得た数をいいます。
- ・ファンドの年間騰落率は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算した年間騰落率が記載されており、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

●ファンドと他の代表的な資産クラスとの騰落率の比較

(2010年6月末～2015年5月末)



- ・グラフは、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。

ファンドと他の代表的な資産クラスの平均騰落率、年間最大・最小騰落率(%)

	ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
平均値	+3.3	+13.6	+19.4	+10.6	+2.4	+8.5	+8.7
最大値	+7.7	+65.0	+65.7	+47.4	+4.5	+34.9	+43.7
最小値	-1.3	-17.0	-13.6	-22.8	+0.4	-12.7	-10.1

(注) 全ての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。

- ・2010年6月～2015年5月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

- ＊ファンドについては2014年10月～2015年5月の同様の騰落率を表示したものです。

資産クラス	指数名	注記等
日本株	TOPIX(配当込み)	TOPIX(配当込み)とは、東京証券取引所第一部に上場する内国普通株式全銘柄を対象として算出した指数(TOPIX)に、現金配当による権利落ちの修正を加えた株価指数です。TOPIX(配当込み)に関する知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。東京証券取引所は、TOPIX(配当込み)の算出もしくは公表の方法の変更、TOPIX(配当込み)の算出もしくは公表の停止またはTOPIX(配当込み)の商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。
先進国株	MSCIコクサイ・インデックス(配当込み)	MSCIコクサイ・インデックス(配当込み)とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、MSCIコクサイ・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。
新興国株	MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み)	MSCI エマージング・マーケット・インデックス(配当込み)とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。また、MSCI エマージング・マーケット・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。
日本国債	NOMURA-BPI(国債)	NOMURA-BPIとは、野村證券株式会社が発表しているわが国の代表的な債券パフォーマンスインデックスで、NOMURA-BPI(国債)はそのサブインデックスです。わが国の国債で構成されており、ポートフォリオの投資収益率・利回り・クーポン・デュレーション等の各指標が日々公表されます。NOMURA-BPI(国債)は野村證券株式会社の知的財産であり、運用成果等に関し、野村證券株式会社は一切関係ありません。
先進国債	シティ世界国債インデックス(除く日本)	シティ世界国債インデックス(除く日本)は、Citigroup Index LLCにより開発、算出および公表されている、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。
新興国債	JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド	JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイドとは、J.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表している指数で、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的なインデックスです。現地通貨建てのエマージング債のうち、投資規制の有無や、発行規模等を考慮して選ばれた銘柄により構成されています。当指数の著作権はJ.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

2【設定及び解約の実績】

「ビムコ・エマージング・ボンド・オープン Ｃコース（為替ヘッジなし）（年１回決算型）」

	設定口数	解約口数	発行済口数
第1計算期間	1,153,009	3,750	1,149,259
第2計算期期首から 平成27年5月29日までの期間	105,668	86,166	1,168,761

「ビムコ・エマージング・ボンド・オープン Ｄコース（為替ヘッジあり）（年１回決算型）」

	設定口数	解約口数	発行済口数
第1計算期間	1,380,673	2,492	1,378,181
第2計算期期首から 平成27年5月29日までの期間	583,651	6,274	1,955,558

3【ファンドの経理状況】

【中間財務諸表】

- 1 当ファンドの中間財務諸表は、「中間財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和52年大蔵省令第38号）ならびに同規則第38条の3および第57条の2の規定により、「投資信託財産の計算に関する規則」（平成12年総理府令第133号）に基づいて作成しております。
なお、中間財務諸表に記載している金額は、円単位で表示しております。
- 2 当ファンドは、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2期中間計算期間（平成26年11月21日から平成27年5月20日まで）の中間財務諸表について、あらた監査法人により中間監査を受けております

【ピムコ・エマージング・ボンド・オープン Ｃコース（為替ヘッジなし）（年１回決算型）】

（１）【中間貸借対照表】

（単位：円）

	第 1 期 [平成26年11月20日現在]	第 2 期中間計算期間末 [平成27年5月20日現在]
資産の部		
流動資産		
コール・ローン	40,311	50,244
投資信託受益証券	1,405,279	1,480,189
親投資信託受益証券	1,000	1,000
流動資産合計	1,446,590	1,531,433
資産合計	1,446,590	1,531,433
負債の部		
流動負債		
未払受託者報酬	392	371
未払委託者報酬	10,925	11,133
流動負債合計	11,317	11,504
負債合計	11,317	11,504
純資産の部		
元本等		
元本	1,149,259	1,188,761
剰余金		
中間剰余金又は中間欠損金（ ）	286,014	331,168
（分配準備積立金）	275,372	260,026
元本等合計	1,435,273	1,519,929
純資産合計	1,435,273	1,519,929
負債純資産合計	1,446,590	1,531,433

（２）【中間損益及び剰余金計算書】

（単位：円）

	第 1 期中間計算期間 自 平成25年10月31日 至 平成26年 4月30日	第 2 期中間計算期間 自 平成26年11月21日 至 平成27年 5月20日
営業収益		
受取配当金	38,947	77,202
受取利息	9	-
有価証券売買等損益	32,562	32,292
営業収益合計	71,518	44,910
営業費用		
受託者報酬	277	371
委託者報酬	1,8092	1,11,133
営業費用合計	8,369	11,504
営業利益	63,149	33,406
経常利益	63,149	33,406
中間純利益	63,149	33,406
一部解約に伴う中間純利益金額の分配額	97	2,164
期首剰余金又は期首欠損金（ ）	-	286,014
剰余金増加額又は欠損金減少額	4,992	26,014
中間追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	4,992	26,014
剰余金減少額又は欠損金増加額	5	16,430
中間一部解約に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	5	16,430
分配金	-	-
中間剰余金又は中間欠損金（ ）	68,039	331,168

「ピムコ・エマージング・ボンド・オープン Ｃコース（為替ヘッジなし）（年１回決算型）」

（３）【中間注記表】

（重要な会計方針に係る事項に関する注記）

１ 有価証券の評価基準及び評価方法	投資信託受益証券は移動平均法に基づき、時価で評価しております。時価評価にあたっては、基準価額で評価しております。 親投資信託受益証券は移動平均法に基づき、時価で評価しております。時価評価にあたっては、基準価額で評価しております。
-------------------	---

（中間貸借対照表に関する注記）

	第 １ 期 [平成26年11月20日現在]	第 ２ 期中間計算期間末 [平成27年5月20日現在]
１ 期首元本額	1,000,000円	1,149,259円
期中追加設定元本額	153,009円	105,668円
期中一部解約元本額	3,750円	66,166円
２ 受益権の総数	1,149,259口	1,188,761口
３ １口当たり純資産額 （１万口当たり純資産額）	1.2489円 (12,489円)	1.2786円 (12,786円)

（中間損益及び剰余金計算書に関する注記）

第 １ 期中間計算期間（自 平成25年10月31日 至 平成26年4月30日）

１ 運用に係る権限を委託するための費用

信託財産の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用として、信託財産の純資産総額に対し年10,000分の60以内の率を乗じて得た額を委託者報酬の中から支弁しております。

第 ２ 期中間計算期間（自 平成26年11月21日 至 平成27年5月20日）

１ 運用に係る権限を委託するための費用

信託財産の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用として、信託財産の純資産総額に対し年10,000分の60以内の率を乗じて得た額を委託者報酬の中から支弁しております。

（金融商品に関する注記）

金融商品の時価等に関する事項

区 分	第 １ 期 [平成26年11月20日現在]	第 ２ 期中間計算期間末 [平成27年5月20日現在]
１ 中間貸借対照表計上額、時価及びその差額	時価で計上しているためその差額はありません。	同 左
２ 時価の算定方法	売買目的有価証券は、（重要な会計方針に係る事項に関する注記）に記載しております。 デリバティブ取引は、該当事項はありません。 上記以外の金融商品（コールローン等）は、短期間で決済され、時価は帳簿価額と近似していることから、当該金融商品の帳簿価額を時価としております。	同 左 同 左 同 左
３ 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。	同 左

（有価証券関係に関する注記）

該当事項はありません。

（デリバティブ取引等関係に関する注記）

取引の時価等に関する事項

該当事項はありません。

【ピムコ・エマージング・ボンド・オープンＤコース（為替ヘッジあり）（年１回決算型）】

（１）【中間貸借対照表】

（単位：円）

	第 1 期 [平成26年11月20日現在]	第 2 期中間計算期間末 [平成27年5月20日現在]
資産の部		
流動資産		
コール・ローン	26,278	50,487
投資信託受益証券	1,416,225	1,990,263
親投資信託受益証券	1,000	1,000
流動資産合計	1,443,503	2,041,750
資産合計	1,443,503	2,041,750
負債の部		
流動負債		
未払受託者報酬	380	507
未払委託者報酬	9,696	14,563
流動負債合計	10,076	15,070
負債合計	10,076	15,070
純資産の部		
元本等		
元本	1,378,181	1,955,558
剰余金		
中間剰余金又は中間欠損金（ ）	55,246	71,122
（分配準備積立金）	64,170	63,964
元本等合計	1,433,427	2,026,680
純資産合計	1,433,427	2,026,680
負債純資産合計	1,443,503	2,041,750

（２）【中間損益及び剰余金計算書】

（単位：円）

	第 1 期中間計算期間 自 平成25年10月31日 至 平成26年 4月30日	第 2 期中間計算期間 自 平成26年11月21日 至 平成27年 5月20日
営業収益		
受取配当金	35,987	65,934
受取利息	9	1
有価証券売買等損益	13,597	41,896
営業収益合計	22,399	24,039
営業費用		
受託者報酬	231	507
委託者報酬	1,7512	1,14,563
営業費用合計	7,743	15,070
営業利益	14,656	8,969
経常利益	14,656	8,969
中間純利益	14,656	8,969
一部解約に伴う中間純利益金額の分配額	10	10
期首剰余金又は期首欠損金（ ）	-	55,246
剰余金増加額又は欠損金減少額	-	7,098
中間追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	-	7,098
剰余金減少額又は欠損金増加額	29	201
中間一部解約に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	-	201
中間追加信託に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	29	-
分配金	-	-
中間剰余金又は中間欠損金（ ）	14,617	71,122

「ピムコ・エマージング・ボンド・オープン Ｄコース（為替ヘッジあり）（年１回決算型）」

（３）【中間注記表】

（重要な会計方針に係る事項に関する注記）

１ 有価証券の評価基準及び評価方法	投資信託受益証券は移動平均法に基づき、時価で評価しております。時価評価にあたっては、基準価額で評価しております。 親投資信託受益証券は移動平均法に基づき、時価で評価しております。時価評価にあたっては、基準価額で評価しております。
-------------------	---

（中間貸借対照表に関する注記）

	第 １ 期 [平成26年11月20日現在]	第 ２ 期中間計算期間末 [平成27年5月20日現在]
１ 期首元本額	1,000,000円	1,378,181円
期中追加設定元本額	380,673円	583,651円
期中一部解約元本額	2,492円	6,274円
２ 受益権の総数	1,378,181口	1,955,558口
３ １口当たり純資産額 （１万口当たり純資産額）	1.0401円 (10,401円)	1.0364円 (10,364円)

（中間損益及び剰余金計算書に関する注記）

第 １ 期中間計算期間（自 平成25年10月31日 至 平成26年4月30日）

１ 運用に係る権限を委託するための費用

信託財産の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用として、信託財産の純資産総額に対し年10,000分の60以内の率を乗じて得た額を委託者報酬の中から支弁しております。

第 ２ 期中間計算期間（自 平成26年11月21日 至 平成27年5月20日）

１ 運用に係る権限を委託するための費用

信託財産の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用として、信託財産の純資産総額に対し年10,000分の60以内の率を乗じて得た額を委託者報酬の中から支弁しております。

（金融商品に関する注記）

金融商品の時価等に関する事項

区 分	第 １ 期 [平成26年11月20日現在]	第 ２ 期中間計算期間末 [平成27年5月20日現在]
１ 中間貸借対照表計上額、時価及びその差額	時価で計上しているためその差額はありません。	同 左
２ 時価の算定方法	売買目的有価証券は、（重要な会計方針に係る事項に関する注記）に記載しております。 デリバティブ取引は、該当事項はありません。 上記以外の金融商品（コールローン等）は、短期間で決済され、時価は帳簿価額と近似していることから、当該金融商品の帳簿価額を時価としております。	同 左 同 左 同 左
３ 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。	同 左

（有価証券関係に関する注記）

該当事項はありません。

（デリバティブ取引等関係に関する注記）

取引の時価等に関する事項

該当事項はありません。

< 参考 >

当ファンドは投資信託受益証券および親投資信託受益証券を主要投資対象としております。

中間貸借対照表の資産の部に計上された親投資信託受益証券の状況は以下の通りです。

「マネー・マーケット・マザーファンド」の状況

なお、以下に記載した情報は、監査の対象外であります。

（１）貸借対照表

	[平成26年11月20日現在]	[平成27年5月20日現在]
	金 額（円）	金 額（円）
資産の部		
流動資産		
コール・ローン	372,850,572	210,220,805
国債証券	2,000,418,450	1,750,095,800
未収利息	78,819	78,794
前払費用	47,806	
流動資産合計	2,373,395,647	1,960,395,399
資産合計	2,373,395,647	1,960,395,399
負債の部		
流動負債		
未払解約金	869	802,372
流動負債合計	869	802,372
負債合計	869	802,372
純資産の部		
元本等		
元本 1	2,330,826,446	1,924,361,734
剰余金		
剰余金又は欠損金（ ）	42,568,332	35,231,293
元本等合計	2,373,394,778	1,959,593,027
純資産合計	2,373,394,778	1,959,593,027
負債純資産合計	2,373,395,647	1,960,395,399

（注1）親投資信託の計算期間は、原則として、毎年5月21日から11月20日まで、および11月21日から翌年5月20日までであります。

（２）注記表

（重要な会計方針に係る事項に関する注記）

1 有価証券の評価基準及び評価方法	公社債は個別法に基づき、時価で評価しております。時価評価にあたっては、価格情報会社等の提供する理論価格で評価しております。
-------------------	---

（貸借対照表に関する注記）

	[平成26年11月20日現在]	[平成27年5月20日現在]
1 期首	平成25年10月31日	平成26年11月21日
期首元本額	3,076,471,589円	2,330,826,446円
期首からの追加設定元本額	2,682,801,582円	10,374,332,763円
期首からの一部解約元本額	3,428,446,725円	10,780,797,475円
元本の内訳 *		
三菱ＵＦＪ ＤＣ金利連動アロケーション型バランスファンド	245,571,395円	288,416,273円
三菱ＵＦＪ 新興国通貨建て債券ファンド（毎月決算型）	5,226,135円	5,226,135円
三菱ＵＦＪ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ＜円コース＞（毎月分配型）	22,047,722円	14,525,380円
三菱ＵＦＪ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ＜米ドルコース＞（毎月分配型）	2,727,794円	2,727,794円
三菱ＵＦＪ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ＜ユーロコース＞（毎月分配型）	170,286円	101,543円
三菱ＵＦＪ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ＜豪ドルコース＞（毎月分配型）	126,013,765円	81,714,442円
三菱ＵＦＪ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ＜ブラジルリアルコース＞（毎月分配型）	231,818,919円	152,186,197円
三菱ＵＦＪ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ＜南アフリカランドコース＞（毎月分配型）	429,650円	429,650円
三菱ＵＦＪ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ＜トルコリラコース＞（毎月分配型）	11,926,122円	7,467,710円
三菱ＵＦＪ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ＜マネーボールファンド＞	679,345,083円	485,467,302円
三菱ＵＦＪ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ＜中国元コース＞（毎月分配型）	197,649円	128,906円
三菱ＵＦＪ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ＜インドネシアルピアコース＞（毎月分配型）	1,799,230円	1,799,230円
ブラデスコ ブラジル成長株オープン・マネーボール・ファンド	3,156,423円	2,017,437円
米国ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ＜円コース＞（毎月分配型）	248,106円	248,106円
米国ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ＜豪ドルコース＞（毎月分配型）	712,999円	712,999円

米国ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース>（毎月分配型）	1,490,575円	862,076円
米国ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<新興国バスケット通貨コース>（毎月分配型）	446,819円	299,514円
米国ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<マネーボールファンド>	2,188,822円	981,935円
三菱ＵＦＪ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<資源国バスケット通貨コース>（毎月分配型）	614,937円	389,070円
ＰＩＭＣＯ ニューワールド円インカムファンド（毎月分配型）	68,417,834円	42,384,248円
ＰＩＭＣＯ ニューワールド米ドルインカムファンド（毎月分配型）	3,558,532円	3,558,532円
ＰＩＭＣＯ ニューワールドインカムファンド<豪ドルコース>（毎月分配型）	35,941,494円	35,941,494円
ＰＩＭＣＯ ニューワールドインカムファンド<ブラジルリアルコース>（毎月分配型）	938,449円	938,449円
ピクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<円コース>（毎月分配型）	358,088円	358,088円
ピクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<豪ドルコース>（毎月分配型）	2,100,667円	2,100,667円
ピクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース>（毎月分配型）	3,836,590円	3,836,590円
ピクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<資源国バスケット通貨コース>（毎月分配型）	1,787,931円	923,745円
ピクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<マネーボールファンド>	8,737,199円	5,525,461円
三菱ＵＦＪ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<円コース>（毎月分配型）	43,480,808円	23,152,810円
三菱ＵＦＪ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<米ドルコース>（毎月分配型）	10,108,332円	5,011,602円
三菱ＵＦＪ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース>（毎月分配型）	4,071,402円	4,071,402円
三菱ＵＦＪ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース>（毎月分配型）	68,076,479円	43,682,881円
三菱ＵＦＪ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<資源国バスケット通貨コース>（毎月分配型）	757,771円	374,779円
三菱ＵＦＪ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<アジアバスケット通貨コース>（毎月分配型）	1,232,040円	780,306円
三菱ＵＦＪ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<マネーボールファンド>	138,108,832円	29,100,616円
三菱ＵＦＪ 欧州ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<円コース>（毎月分配型）	2,221,253円	2,221,253円
三菱ＵＦＪ 欧州ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<ユーロコース>（毎月分配型）	2,971,153円	1,784,459円
三菱ＵＦＪ 欧州ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース>（毎月分配型）	2,576,702円	2,576,702円
三菱ＵＦＪ 欧州ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース>（毎月分配型）	3,148,614円	3,148,614円
三菱ＵＦＪ 欧州ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<資源国バスケット通貨コース>（毎月分配型）	67,305円	67,305円
三菱ＵＦＪ 欧州ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<マネーボールファンド>	13,171,200円	3,492,620円
三菱ＵＦＪ 欧州ハイイールド債券ファンド ユーロ円プレミアム（毎月分配型）	78,483,503円	78,483,503円
欧州ハイイールド債券ファンド（為替ヘッジあり）	3,143,477円	2,069,498円
欧州ハイイールド債券ファンド（為替ヘッジなし）	2,669,954円	1,726,413円
新興国ハイイールド債券ファンド（為替ヘッジあり）	10,889円	1,068円
新興国ハイイールド債券ファンド（為替ヘッジなし）	20,706円	20,706円
三菱ＵＦＪ 米国リートファンドA <為替ヘッジあり>（毎月決算型）	491,836円	491,836円
三菱ＵＦＪ 米国リートファンドB <為替ヘッジなし>（毎月決算型）	98,368円	98,368円
三菱ＵＦＪ／ＵＢＳ グローバル好利回りＣＢファンド2012-11（円ヘッジ）（限定追加型）	10,816,126円	10,816,126円
ＰＩＭＣＯ ニューワールドインカムファンド<メキシコペソコース>（毎月分配型）	89,100,298円	47,835,444円
ＰＩＭＣＯ ニューワールド円インカムファンド（年2回分配型）	266,340円	168,137円
ＰＩＭＣＯ ニューワールド米ドルインカムファンド（年2回分配型）	472,643円	472,643円
ＰＩＭＣＯ ニューワールドインカムファンド<豪ドルコース>（年2回分配型）	40,301円	20,660円
ＰＩＭＣＯ ニューワールドインカムファンド<ブラジルリアルコース>（年2回分配型）	20,637円	20,637円

ＰＩＭＣＯ ニューワールドインカムファンド＜メキシコ ペソコース＞（年２回分配型）	2,438,810円	2,438,810円
三菱ＵＦＪ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シ リーズ＜メキシコペソコース＞（毎月分配型）	7,176,471円	4,073,259円
三菱ＵＦＪ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シ リーズ＜トルコリラコース＞（毎月分配型）	1,071,498円	688,506円
ピクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シ リーズ＜米ドルコース＞（毎月分配型）	19,658円	19,658円
ピクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シ リーズ＜メキシコペソコース＞（毎月分配型）	19,658円	19,658円
ピクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シ リーズ＜トルコリラコース＞（毎月分配型）	19,658円	19,658円
三菱ＵＦＪ 米国高配当株式プラス＜為替ヘッジあり＞ （毎月決算型）	491,449円	491,449円
三菱ＵＦＪ 米国高配当株式プラス＜為替ヘッジなし＞ （毎月決算型）	9,828,976円	9,828,976円
ＰＩＭＣＯ ニューワールドインカムファンド＜世界通貨 分散コース＞（毎月分配型）	19,255,183円	19,255,183円
ＰＩＭＣＯ ニューワールドインカムファンド＜世界通貨 分散コース＞（年２回分配型）	554,804円	554,804円
バリュー・ボンド・ファンド＜為替リスク軽減型＞（毎 月決算型）	1,936,118円	1,936,118円
バリュー・ボンド・ファンド＜為替ヘッジなし＞（毎月 決算型）	9,829円	9,829円
バリュー・ボンド・ファンド＜為替リスク軽減型＞（年 １回決算型）	9,829円	9,829円
バリュー・ボンド・ファンド＜為替ヘッジなし＞（年１ 回決算型）	9,829円	9,829円
三菱ＵＦＪ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリー ズ＜円コース＞（毎月分配型）	15,049,666円	15,049,666円
三菱ＵＦＪ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリー ズ＜米ドルコース＞（毎月分配型）	20,551,717円	20,551,717円
三菱ＵＦＪ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリー ズ＜豪ドルコース＞（毎月分配型）	3,730,759円	3,730,759円
三菱ＵＦＪ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリー ズ＜ブラジルリアルコース＞（毎月分配型）	5,059,469円	5,059,469円
三菱ＵＦＪ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリー ズ＜メキシコペソコース＞（毎月分配型）	5,519,741円	5,519,741円
三菱ＵＦＪ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリー ズ＜トルコリラコース＞（毎月分配型）	536,847円	252,058円
三菱ＵＦＪ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリー ズ＜ロシアルーブルコース＞（毎月分配型）	470,711円	6,618,213円
三菱ＵＦＪ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリー ズ＜円コース＞（年２回分配型）	3,737,703円	3,737,703円
三菱ＵＦＪ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリー ズ＜米ドルコース＞（年２回分配型）	6,435,081円	6,435,081円
三菱ＵＦＪ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリー ズ＜豪ドルコース＞（年２回分配型）	303,811円	686,803円
三菱ＵＦＪ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリー ズ＜ブラジルリアルコース＞（年２回分配型）	627,788円	627,788円
三菱ＵＦＪ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリー ズ＜メキシコペソコース＞（年２回分配型）	608,110円	608,110円
三菱ＵＦＪ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリー ズ＜トルコリラコース＞（年２回分配型）	46,726円	46,726円
三菱ＵＦＪ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリー ズ＜ロシアルーブルコース＞（年２回分配型）	100,461円	895,906円
三菱ＵＦＪ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリー ズ＜マネーボールファンドＡ＞	1,475,717円	36,583,200円
三菱ＵＦＪ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリー ズ＜マネーボールファンドＢ＞	980,118円	980,075円
三菱ＵＦＪ／ピムコ トータル・リターン・ファンド＜米 ドルヘッジ型＞（毎月決算型）	1,423,307円	1,423,307円
三菱ＵＦＪ／ピムコ トータル・リターン・ファンド＜為 替ヘッジなし＞（毎月決算型）	3,270,787円	3,270,787円
三菱ＵＦＪ／ピムコ トータル・リターン・ファンド＜米 ドルヘッジ型＞（年１回決算型）	1,168,184円	1,168,184円
三菱ＵＦＪ／ピムコ トータル・リターン・ファンド＜為 替ヘッジなし＞（年１回決算型）	2,065,331円	2,065,331円
ピムコ・エマージング・ボンド・オープン Ｃコース（為 替ヘッジなし）（年１回決算型）	983円	983円
ピムコ・エマージング・ボンド・オープン Ｄコース（為 替ヘッジあり）（年１回決算型）	983円	983円
三菱ＵＦＪ／ＵＢＳ グローバル好利回りＣＢファンド 2013-11（円ヘッジ）（限定追加型）	982,608円	982,608円

米国バンクロンファンド＜為替ヘッジあり＞（毎月分配型）	2,827,156円	2,827,156円
米国バンクロンファンド＜為替ヘッジなし＞（毎月分配型）	9,387,547円	9,387,547円
米ドル建て担保付貸付債権オープン＜為替ヘッジあり＞（３ヵ月決算型）	3,445,331円	
三菱ＵＦＪノビムコ トータル・リターン・ファンド2014	256,356円	256,356円
米国バンクロン・オープン＜為替ヘッジあり＞（毎月決算型）	3,545,187円	3,545,187円
米国バンクロン・オープン＜為替ヘッジなし＞（毎月決算型）	8,124,755円	8,124,755円
米国バンクロン・オープン＜為替ヘッジあり＞（年１回決算型）	2,990,177円	2,990,177円
米国バンクロン・オープン＜為替ヘッジなし＞（年１回決算型）	3,377,211円	3,377,211円
P I M C O インカム戦略ファンド＜円インカム＞（毎月分配型）	151,268円	151,268円
P I M C O インカム戦略ファンド＜円インカム＞（年２回分配型）	41,258円	168,922円
P I M C O インカム戦略ファンド＜米ドルインカム＞（毎月分配型）	633,556円	1,674,507円
P I M C O インカム戦略ファンド＜米ドルインカム＞（年２回分配型）	235,745円	658,018円
P I M C O インカム戦略ファンド＜世界通貨分散コース＞（毎月分配型）	1,565,662円	9,991,470円
P I M C O インカム戦略ファンド＜世界通貨分散コース＞（年２回分配型）	320,205円	1,616,484円
三菱ＵＦＪノAMP オーストラリア・ハイインカム債券ファンド 豪ドル円プレミアム（毎月決算型）	25,537,767円	25,537,767円
三菱ＵＦＪ 米国バンクロンファンド 米ドル円プレミアム（毎月分配型）	18,797,761円	42,906,570円
三菱ＵＦＪ 米国バンクロンファンド 米ドル円プレミアム（年２回分配型）	3,312,052円	8,585,548円
P I M C O 米国バンクロンファンド＜円インカム＞（毎月分配型）		10,804円
P I M C O 米国バンクロンファンド＜円インカム＞（年２回分配型）		10,804円
P I M C O 米国バンクロンファンド＜米ドルインカム＞（毎月分配型）		1,375,824円
P I M C O 米国バンクロンファンド＜米ドルインカム＞（年２回分配型）		1,071,396円
マルチストラテジー・ファンド（ラップ向け）		491,015円
P I M C O 米国バンクロンファンド＜世界通貨分散コース＞（毎月分配型）		348,621円
P I M C O 米国バンクロンファンド＜世界通貨分散コース＞（年２回分配型）		59,905円
三菱ＵＦＪ 債券バランスファンド＜為替リスク軽減型＞（毎月決算型）		983円
三菱ＵＦＪ 債券バランスファンド＜為替ヘッジなし＞（毎月決算型）		983円
三菱ＵＦＪ 債券バランスファンド＜為替リスク軽減型＞（年１回決算型）		983円
三菱ＵＦＪ 債券バランスファンド＜為替ヘッジなし＞（年１回決算型）		983円
三菱ＵＦＪ Ｊリート不動産株ファンド＜米ドル投資型＞（３ヵ月決算型）		3,063,931円
三菱ＵＦＪ Ｊリート不動産株ファンド＜Wプレミアム＞（毎月決算型）		6,324,266円
N a v i o インド債券ファンド	885,566円	885,566円
N a v i o マネーボールファンド	3,999,901円	1,412,300円
三菱ＵＦＪ インド債券オープン（毎月決算型）	39,351円	39,351円
三菱ＵＦＪ バランス・イノベーション（債券重視型）		22,527,760円
三菱ＵＦＪノAMP オーストラリアR E I Tファンド＜Wプレミアム＞（毎月決算型）		11,293,333円
バンクロンファンドU S A（為替ヘッジあり）2014-08	11,276,260円	11,276,260円
マネーボールファンド（F O F s 用）（適格機関投資家限定）	116,474円	116,474円
M U A M トピックスリスクコントロール（５％）インデックスファンド（F O F s 用）（適格機関投資家限定）	124,156,095円	132,261,881円
ビムコ・エマージング・ボンド・オープン Aコース（為替ヘッジなし）	16,982,851円	16,982,851円
ビムコ・エマージング・ボンド・オープン Bコース（為替ヘッジあり）	34,396,392円	34,396,392円

（合 計）	2,330,826,446円	1,924,361,734円
2 受益権の総数	2,330,826,446口	1,924,361,734口
3 1口当たり純資産額 （1万口当たり純資産額）	1.0183円 (10,183円)	1.0183円 (10,183円)

* 当該親投資信託受益証券を投資対象とする証券投資信託ごとの元本額

（金融商品に関する注記）

金融商品の時価等に関する事項

区 分	[平成26年11月20日現在]	[平成27年5月20日現在]
1 貸借対照表計上額、時価及びその差額	時価で計上しているためその差額はありません。	同 左
2 時価の算定方法	<p>売買目的有価証券は、（重要な会計方針に係る事項に関する注記）に記載しております。</p> <p>デリバティブ取引は、該当事項はありません。</p> <p>上記以外の金融商品（コールローン等）は、短期間で決済され、時価は帳簿価額と近似していることから、当該金融商品の帳簿価額を時価としております。</p>	<p>同 左</p> <p>同 左</p> <p>同 左</p>
3 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	当ファンドに投資する証券投資信託の注記表（金融商品に関する注記）に記載しております。	同 左

（有価証券関係に関する注記）

該当事項はありません。

（デリバティブ取引等関係に関する注記）

取引の時価等に関する事項

該当事項はありません。

【ファンドの現況】

【ピムコ・エマージング・ボンド・オープン Ｃコース（為替ヘッジなし）（年１回決算型）】

【純資産額計算書】

平成27年5月29日現在

（単位：円）

資 産 総 額	1,537,624
負 債 総 額	601
純資産総額（ - ）	1,537,023
発 行 済 口 数	1,168,761 口
1口当たり純資産価額（ / ）	1.3151 （ 1万口当たり 13,151 ）

【ピムコ・エマージング・ボンド・オープン Ｄコース（為替ヘッジあり）（年１回決算型）】

【純資産額計算書】

平成27年5月29日現在

（単位：円）

資 産 総 額	2,026,455
負 債 総 額	808
純資産総額（ - ）	2,025,647
発 行 済 口 数	1,955,558 口
1口当たり純資産価額（ / ）	1.0358 （ 1万口当たり 10,358 ）

<参考>

「マネー・マーケット・マザーファンド」の現況

純資産額計算書

平成27年5月29日現在

（単位：円）

資 産 総 額	1,931,670,458
負 債 総 額	545
純資産総額（ - ）	1,931,669,913
発 行 済 口 数	1,896,944,275 口
1口当たり純資産価額（ / ）	1.0183 （ 1万口当たり 10,183 ）

4【委託会社等の概況】

(1)【資本金の額】

半期代替書面における「委託会社等の概況」の記載のとおりです。

半期代替書面については、(<http://www.am.mufg.jp/corp/profile/accounting.html>)でもご覧いただけます。

(2)【事業の内容及び営業の状況】

半期代替書面における「事業の内容及び営業の概況」の記載のとおりです。

(3)【その他】

委託会社は平成27年7月1日に国際投信投資顧問株式会社と合併し、商号を三菱ＵＦＪ国際投信株式会社に変更しました。

上記以外、該当事項はありません。

5【委託会社等の経理状況】

半期代替書面における「委託会社等の経理状況」の「冒頭書面」の記載のとおりです。

(1)【貸借対照表】

半期代替書面における「委託会社等の経理状況」の(1)「貸借対照表」の記載のとおりです。

(2)【損益計算書】

半期代替書面における「委託会社等の経理状況」の(2)「損益計算書」の記載のとおりです。

(3)【株主資本等変動計算書】

半期代替書面における「委託会社等の経理状況」の(3)「株主資本等変動計算書」の記載のとおりです。

6【その他】

平成27年2月19日提出済みの有価証券届出書（以下「原届出書」といいます。）の記載事項の一部について、内容の更新等を行います。原届出書の更新後の内容を記載する場合は＜更新後＞とします。

有価証券報告書

第一部 ファンド情報

第1 ファンドの状況

1 ファンドの性格

（１）ファンドの目的及び基本的性格

〔ファンドの目的・特色〕

＜更新後＞

（略）

＜世界の主な新興経済国＞



❗ 上記以外の国を投資対象国とすることがあります。

＜債券への投資方針について＞

- ・ 実質的な投資対象とするエマージング債券は、新興経済国の政府および政府機関等の発行もしくは保証する債券（ソブリン債券、準ソブリン債券）ですが、エマージング債券と同様の投資効果を持つデリバティブ取引を活用する場合があります。
また、一部資金管理目的で、米国の国債、政府機関債、社債、モーゲージ証券（MBS）、資産担保証券（ABS）等にも実質的に投資を行います。
- ・ 投資する債券の実質的な平均デュレーションは原則として3年以上8年以内で調整します。
- ・ 実質的に投資する債券は、原則として取得時において「CCC一格」相当以上の格付けを有しているものに限定し、投資する債券の実質的な平均格付けは原則として「B一格」相当以上を維持します。
- ・ 主に先進国通貨建ての資産に実質的に投資します。ただし、限定的な範囲内において、新興経済国の現地通貨建て資産にも実質的に投資を行います。

❗ デュレーションとは、債券の投資元本の回収に要する平均残存期間や金利感応度を意味する指標です。この値が大きいほど、金利変動に対する債券価格の変動率が大きくなります。

＜信用格付けと利回りについて＞

- ❗ 信用格付けとは、債券の中長期的な元本・利子の支払いの確実性の度合いについてランク付けしたものです。これは、アルファベットを使った簡単な記号で表現されており、世界各国、産業別の債券について比較しやすいため、広く利用されています。

	信用力									
	高い				低い					
	投資適格格付け				投機的格付け					
ムーディーズ・インベスターズ・サービス (Moody's)	Aaa	Aa	A	Baa	Ba	B	Caa	Ca	C	—
スタンダード・アンド・プアーズ (S&P)	AAA	AA	A	BBB	BB	B	CCC	CC	C	D
	利回り									
	低い					高い				

Moody'sのAaからCaaまでの信用格付けには「1、2、3」、S&PのAAからCCCまでの信用格付けには「+、-」という付加記号を省略して表示しています。

上記は信用格付けと利回りの間の一般的な関係を示したイメージ図であり、利回りは信用格付け以外の要因によっても変動するため、この関係通りの利回りが成立しない場合があります。

（略）

4 手数料等及び税金

（５）課税上の取扱い

<更新後>

（略）

公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度「愛称：NISA（ニーサ）」の適用対象です。NISAをご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が一定期間非課税となります。他の口座で生じた配当所得・譲渡所得との損益通算はできません。販売会社で非課税口座を開設するなど、一定の条件に該当する方が対象となります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

（略）

上記は平成27年5月末現在のものですので、税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。

（略）

第二部 委託会社等の情報

第2 その他の関係法人の概況

1 名称、資本金の額及び事業の内容

（１）受託会社

<更新後>

（略）

資本金の額：324,279百万円（平成27年3月末現在）

（略）

（２）販売会社

<更新後>

名称	資本金の額 (平成27年3月末現在)	事業の内容
カブドットコム証券株式会社	7,196 百万円	金融商品取引法に定める第一種金融商品取引業を営んでいます。
株式会社SBI証券	47,937 百万円	金融商品取引法に定める第一種金融商品取引業を営んでいます。
高木証券株式会社	11,069 百万円	金融商品取引法に定める第一種金融商品取引業を営んでいます。
楽天証券株式会社	7,495 百万円	金融商品取引法に定める第一種金融商品取引業を営んでいます。

（３）再委託先

<更新後>

（略）

資本金の額：13,411,674.44米ドル（平成27年3月末現在）

（略）

独立監査人の中間監査報告書

平成27年6月30日

三菱ＵＦＪ投信株式会社
取締役会御中

あらた監査法人

指 定 社 員 公認会計士 柴 毅 印
業務執行社員

指 定 社 員 公認会計士 和田 渉 印
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられているピムコ・エマージング・ボンド・オープンＣコース（為替ヘッジなし）（年1回決算型）の平成26年11月21日から平成27年5月20日までの中間計算期間の中間財務諸表、すなわち、中間貸借対照表、中間損益及び剰余金計算書並びに中間注記表について中間監査を行った。

中間財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して中間財務諸表を作成し有用な情報を表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない中間財務諸表を作成し有用な情報を表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した中間監査に基づいて、独立の立場から中間財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間監査の基準に準拠して中間監査を行った。中間監査の基準は、当監査法人に中間財務諸表には全体として中間財務諸表の有用な情報の表示に関して投資者の判断を損なうような重要な虚偽表示がないかどうかの合理的な保証を得るために、中間監査に係る監査計画を策定し、これに基づき中間監査を実施することを求めている。

中間監査においては、中間財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するために年度監査と比べて監査手続の一部を省略した中間監査手続が実施される。中間監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による中間財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて、分析的手続等を中心とした監査手続に必要に応じて追加の監査手続が選択及び適用される。中間監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な中間監査手続を立案するために、中間財務諸表の作成と有用な情報の表示に関連する内部統制を検討する。また、中間監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め中間財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、中間監査の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

中間監査意見

当監査法人は、上記の中間財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して、ピムコ・エマージング・ボンド・オープンＣコース（為替ヘッジなし）（年1回決算型）の平成27年5月20日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する中間計算期間（平成26年11月21日から平成27年5月20日まで）の損益の状況に関する有用な情報を表示しているものと認める。

利害関係

三菱ＵＦＪ投信株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

（注）上記は、委託会社が、独立監査人の中間監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は委託会社が別途保管しております。なお、XBRLデータは中間監査の対象に含まれていません。

独立監査人の中間監査報告書

平成27年6月30日

三菱ＵＦＪ投信株式会社

取締役会御中

あらた監査法人

指 定 社 員 公認会計士 柴 毅 印
業務執行社員

指 定 社 員 公認会計士 和田 渉 印
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられているピムコ・エマージング・ボンド・オープンＤコース（為替ヘッジあり）（年1回決算型）の平成26年11月21日から平成27年5月20日までの中間計算期間の中間財務諸表、すなわち、中間貸借対照表、中間損益及び剰余金計算書並びに中間注記表について中間監査を行った。

中間財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して中間財務諸表を作成し有用な情報を表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない中間財務諸表を作成し有用な情報を表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した中間監査に基づいて、独立の立場から中間財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間監査の基準に準拠して中間監査を行った。中間監査の基準は、当監査法人に中間財務諸表には全体として中間財務諸表の有用な情報の表示に関して投資者の判断を損なうような重要な虚偽表示がないかどうかの合理的な保証を得るために、中間監査に係る監査計画を策定し、これに基づき中間監査を実施することを求めている。

中間監査においては、中間財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するために年度監査と比べて監査手続の一部を省略した中間監査手続が実施される。中間監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による中間財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて、分析的手続等を中心とした監査手続に必要に応じて追加の監査手続が選択及び適用される。中間監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な中間監査手続を立案するために、中間財務諸表の作成と有用な情報の表示に関連する内部統制を検討する。また、中間監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め中間財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、中間監査の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

中間監査意見

当監査法人は、上記の中間財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して、ピムコ・エマージング・ボンド・オープンＤコース（為替ヘッジあり）（年1回決算型）の平成27年5月20日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する中間計算期間（平成26年11月21日から平成27年5月20日まで）の損益の状況に関する有用な情報を表示しているものと認める。

利害関係

三菱ＵＦＪ投信株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

（注）上記は、委託会社が、独立監査人の中間監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は委託会社が別途保管しております。なお、XBRLデータは中間監査の対象に含まれていません。